



フィリピン歴史地区ワークショップ

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2019年09月14日 ~2019年09月21日	フィリピン		・建築学科、土木工学科 ・学部4年生、学部3年生、学部2年生、学部1年生	(芝浦工業大学) 学生10名、教員1名	岡崎 瑠美(建築学科)



図1 ボホールの歴史的建造物

本グローバルPBLではEscuela Taller de Filipinas Foundation、滋賀県立大学、National University of Ho Chi Minh Cityと合同でフィリピン・セブ及びボホールにて歴史地区について検討するワークショップを行った。第一課題はボホールの歴史地区であるSitio Ubosで調査を行い、歴史的建造物の保存と利活用について提案をまとめ、タグビララン市の市長に向けて発表を行った。第二課題はセブの歴史地区にあるスペイン植民地時代に建設されたJesuit Houseとそれを取り巻く非正規市街地(スラム)について調査を行った。最終的には地域の問題点やポテンシャルの抽出を行い、その改善案をJesuit Houseの所有者や建築専門家に対して発表を行った。外国資本の大型ビーチリゾート、現地財閥資本によるショッピングモールのような煌びやかな観光地とは裏腹に非正規市街地と隣り合う歴史地区の実態について考える機会となった。



図2 ボホールのスラム



図3 ボホールのグループワーク風景



図4 セブの屋根修復現場



図5 セブのスラム



図6 セブのワークショップ風景